

事業所名

ミライこどもケア発達支援教室

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和6年

4月

1日

法人（事業所）理念		「家庭に笑顔を」 家庭に笑顔を増やし、幸せな社会を築く礎となることを目指します。		
支援方針		個別療育で運動や遊びを通して「できた」という経験を重ね自己肯定感を持てるようにし、お一人おひとりのお子さまが自分で自分のミライを創る力を育てていきます。また、ご家族様への相談援助や関係機関との連携を実施し包括的な支援を行えるように努めます。		
営業時間		9:00～18:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚特性を把握し、クッションやトランポリンなどの遊具を用いて感覚ニーズの充足を図り安定した覚醒状態で過ごせるようにしていきます。 ・生活の中で必要な挨拶や時間を意識しながら過ごすことを療育場面でも行い、生活に汎化されるように支援していきます。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみたい遊びや経験のある遊びから運動遊びを展開し、「できた」という思いが持て意欲的に取り組んでいけるようにします。また、運動遊びを通して体幹の筋緊張の向上や身体のバランスを保つこと、協調的に左右の上肢を動かしていける力がついていくよう支援します。 ・感覚鈍麻傾向のお子様には繰り返し必要な感覚の入力を行い、感覚過敏傾向のお子様には少しずつ感覚に慣れ受け入れ幅が広がっていき、一人ひとりに合わせた感覚の入力調整を行います。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で数を数えることや比べること、色のマッチング遊びを行い、数の概念形成や色に対する認知が習得されていくよう支援します。 ・相手を意識できる遊びを取り入れ、相手からの言葉を聞く、合図を待つ、等のその場に応じた行動が取れるように支援します。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表情や指差しなど仕草での発信を受け止め、言葉を補足してフィードバックすることで言葉での発信を促していきます。また、簡単な言葉や仕草でのやり取りを行い他者との関わりを持つことを経験していけるようにします。 ・できたことや嬉しい気持ちなどを共感していき、他者との関わりが心地よいものとして感じられるようにしていきます。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者との信頼関係を築くことで自分の気持ちを出していける安心安全の場となるようにしていきます。その経験を元に友達と関わってみようという思いを持てるように支援します。 ・簡単なルールのある遊びを一人一人から始め、小集団での遊びを楽しむ基盤を作っていきます。 		
家族支援		療育後のフィードバックや子育てサポート支援、相談支援等を通じて子育てに関する不安や悩み、困り事への相談援助を行います。	移行支援	学校や関連の施設との連携を適宜行い、本児を取り巻く環境の中で安心して過ごせるように支援します。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・園との連携を取り、情報交換や課題について共有します。 ・関係施設との担当者会議に参加し、支援についての認識を深めます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修やミーティング、社外研修を通して質の向上に取り組めます。また、虐待防止研修や施設安全点検等も定期的に行い利用者の方々に安心してご利用いただけるよう努めます。